

選定理由書

種目	小学校		国語
発行者番号	38	発行者略称	光村

調査研究観点

観点1 教科共通の観点

≪観点項目≫

(1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について

- ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。
- ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。
- ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。
- ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。
- ⑤系統のかつ教科横断的に学習することができる内容となっている。

(2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について

- ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。

観点2 教科固有の観点

≪観点項目≫

(1) 概要

- ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。
- ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。
- ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。

(2) 教科内容

- ④話す・聞く単元における教材が、知識技能の習得、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点を育むことに適した内容・構成になっている。
- ⑤書く単元における教材が、知識技能の習得、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点を育むことに適した内容・構成になっている。
- ⑥読む単元における教材が、知識技能の習得、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点を育むことに適した内容・構成になっている。

観点3 形式について

≪観点項目≫

(1) 内観

- ①本文文字の字体や大きさ
- ②資料の構成
- ③配色
- ④レイアウト

(2) 外観

- ⑤判型、頁数及び別冊の有無

選定理由

【観点1】

巻頭に国語の学び方や前学年・当該学年での学習内容がまとめられており、見通しを持って学習に臨めるよう工夫されている。
 巻頭「みわたそう」や巻末「学習を広げよう」に、学び方についてまとめられており、「問い」から探究していく流れが分かりやすい。
 長年核となっている教材作品と時代に合わせた新しい教材を織り交ぜた充実した内容である。
 6年生には、「中学校につなげよう」での振り返りや視野を広く持った行動や責任感、協力の大切さなど生き方を考える教材が充実している。
 情報や歴史などの説明的文章が6年生で多く、年間を通して他教科と国語科を関連つけて学習できる。
 4年「もしものときにそなえよう」では、震災について考える教材があり、防災意識の向上に役立つ。

【観点2】

「話す・聞く」「書く」「読む」のいずれの力をつける単元なのかを意識しやすい。また、物語文の言葉の解説が絵だけでなく丁寧な言葉で説明されている。
 学習指導要領の各学年の目標および内容が指導できるよう、教材の配列が配慮されている。また、幼保小連携、小中連携も意識された内容である。
 二次元コードを読み取ると動画で作者のメッセージが聞くことができ、物語に込めた思いを知ることでより学習が深められる。また、二次元コード周辺に何の情報が入っているかが書かれており分かりやすい。
 巻頭の「言葉の準備運動」、また、説明文での学習においては短文で練習してから長文内容に入るなど、スモールステップで学習できるよう構成されている。
 詩の教材が多数あり、充実している。物語文「大造じいさんとガン」では、前書きから始まることで登場人物について深く読み解くことができる。

【観点3】

文字がすっきりとして読みやすい。2年物語文「お手紙」では、挿絵の大きさや色合いを控えめにし、文字が目立つよう工夫されている。
 色の組み合わせ、文字情報の追記など、色覚特性への配慮がなされている。
 高学年では、大切な内容が一冊にまとめられている。巻末の内容が充実しているため、年間を通じて活用できる。

以上から、令和6年度使用教科用図書として選定する。

選定理由書

種目	小学校		書写
発行者番号	38	発行者略称	光村

調査研究観点

観点1 教科共通の観点

＜観点項目＞

(1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について

- ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。
- ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。
- ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。
- ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。
- ⑤系統のかつ教科横断的に学習することができる内容となっている。

(2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について

- ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。

観点2 教科固有の観点

＜観点項目＞

(1) 概要

- ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。
- ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。
- ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。

(2) 教科内容

- ④毛筆分野において、目標やねらい、学習の進め方、振り返り・発展教材等、指導の流れが明確である。
- ⑤硬筆分野において、目標やねらい、学習の進め方、振り返り・発展教材等、指導の流れが明確である。
- ⑥資料が、他教科やその他表現に生かされる内容である。また、興味関心を持てる内容である。

観点3 形式について

＜観点項目＞

(1) 内観

- ①本文文字の字体や大きさ
- ②資料の構成
- ③配色
- ④レイアウト

(2) 外観

- ⑤判型、頁数及び別冊の有無

選定理由

【観点1】

学習の基本となる「書く時の姿勢」や「筆の持ち方」が見やすくまとめられている。また、「書写体操」や「整理体操」など、書くための体作りも取り入れられている。

点画の種類が全体の中で色分けされており、漢字のどの部分かイメージしやすいよう工夫されている。

新聞づくりやポスター、名刺などの見本があり、他教科に生かしやすい。SDGsの取り組みも全学年で意識できるよう工夫されている。

【観点2】

全学年に「ことば」のページがあり、言葉の美しさを味わえる教材がある。

二次元コードで「書く時の姿勢」や「筆の持ち方」「用具のかたづけ」などを動画で確認し、学びを深めることができる。

1年の水書黒板のマスにリード線があり、書きやすく配慮されている。また、毛筆を始める3年は、左はらいや右はらいのポイントが大きく丁寧に説明されている。

ねらいが短い言葉や色分けてシンプルに提示されているため、お手本と見比べながら書くことに集中できる。

ひらがなの筆遣いでは、「びたっ」「すうっ」「ぐっ」など、擬音語・擬態語の言葉を唱えながら書くことができる。

【観点3】

全学年を通じて、統一感のある落ち着いた配色となっており、書写の教科書と一目で分かる。

大事なことは大きな文字で、その他は小さくしているので、ポイントがひと目で分かりやすい。また、目線が上下左右の一定方向で見比べられるようになっている。

4年生のSDGsブック、6年生の書写ブックが綴じ込まれており、外して別冊として日常生活に活かせるよう工夫されている。

以上から、令和6年度使用教科用図書として選定する。

選定理由書

種目	小学校	社会	
発行者番号	2	発行者略称	東書

調査研究観点

観点1 教科共通の観点

＜観点項目＞

(1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について

- ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。
- ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。
- ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。
- ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。
- ⑤系統のかつ教科横断的に学習することができる内容となっている。

(2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について

- ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。

観点2 教科固有の観点

＜観点項目＞

(1) 概要

- ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。
- ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。
- ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。

(2) 教科内容

- ④社会事象の特色や相互の連携を考えたり、社会の中の課題解決に向け、社会へのかかわり方を選択・判断し考えを適切に表現する活動への配慮がなされている。
- ⑤地域社会やわが国の国土と歴史に対する誇りや愛情、国民としての自覚や態度を養うための配慮がなされている。
- ⑥社会についての理解を深め、情報活用に関わる技能を身につけるための調査活動への配慮がなされている。

観点3 形式について

＜観点項目＞

(1) 内観

- ①本文文字の字体や大きさ
- ②資料の構成
- ③配色
- ④レイアウト

(2) 外観

- ⑤判型、頁数及び別冊の有無

選定理由

【観点1】

「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」と学びを構造化しており、問題解決的な学習を進めやすくしている。また、「まなびのポイント」が示され、小単元を通じて主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。社会的な見方・考え方について、ドラえもののイラストで分かりやすく例示している。位置や広がり、時間、関わり、考え方に細かく分類されている。学習したことをいかして社会的な事柄に参画したり、提案・発信したりする学習場面が設けられている。学習上重要なキーワードが「ことば」として明示されている。また、「まなび方コーナー」で学習の技能や方法を示しており、学習の基礎・基本につながる多くの工夫が見られる。教科関連マークが設けられていて他教科とのつながりが分かりやすい。また、各学年の学習内容に応じて、SDGsに関連させることができるなど、教科を横断できるデジタルコンテンツが充実している。明石市や尼崎市を大きく取り上げ、地域に学び地域を担いふるさと兵庫の発展に取り組む人材育成につながる教材を適所に取り扱っている。

【観点2】

活用のポイントとして空間的・時間的な広がりをドラえもののキャラクターで明示し、どのような視点で考え方を働かせればよいか明確で分かりやすい。内容構成・配列のバランスが適切であり、SDGs、平和、国際理解、防災・安全、伝統文化の尊重などの今日的な課題への取り組みについても適時取り扱っている。二次元コードを使って、学習場面に応じて、それぞれの内容を分かりやすくまとめている。また、デジタルワークシートが用意され、様々な思考ツールが用意されている。第6学年の「日本とつながりの深い国々」の学習では、教科書紙面に加えて、デジタルコンテンツで資料ページを収載し、調べた国の学習を深められるようにするとともに、児童の国際理解が進められるように工夫されている。

【観点3】

配色がパステルカラーで、見やすい。カラーバリエーションに配慮されており、図表やグラフなどは色調の違いだけでなく、模様や形、線種などで判別できるようにしている。グラフは小さいが、一定数ごとに区切られたグラフも用いられており、視覚的にとらえやすくなっている。また、一定数ごとに区切られたグラフにも目盛りがある。5年生の教科書は「上」「下」、6年生の教科書は、「歴史編」「政治・国際編」に分冊されていて、持ち運びやすい。

以上から、令和6年度使用教科用図書として選定する。

選定理由書

種目	小学校		地図
発行者番号	46	発行者略称	帝国

調査研究観点

観点1 教科共通の観点

《観点項目》

(1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について

- ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。
- ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。
- ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。
- ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。
- ⑤系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。
- (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について
- ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。

観点2 教科固有の観点

《観点項目》

(1) 概要

- ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。
- ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。
- ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。
- (2) 教科内容
- ④社会事象の特色や相互の連携を考えたり、社会の中の課題解決に向け、社会へのかかわり方を選択・判断し考えを適切に表現する活動への配慮がなされている。
- ⑤地域社会やわが国の国土と歴史に対する誇りや愛情、国民としての自覚や態度を養うための配慮がなされている。
- ⑥社会についての理解を深め、情報活用に関わる技能を身につけるための調査活動への配慮がなされている。

観点3 形式について

《観点項目》

(1) 内観

- ①本文文字の字体や大きさ
- ②資料の構成
- ③配色
- ④レイアウト
- (2) 外観
- ⑤判型、頁数及び別冊の有無

選定理由

【観点1】

多様なテーマの主題図が大きく表示されている。様々な問いや作業が設定されている。「地図マスターへの道」では、学年・単元名によって、具体的な活用場面が分かるよう工夫されている。

歴史の学習で活用できるテーマ地図や資料図が掲載され、歴史事象を地理的な空間の広がり結びつけることができる。各見開きには、学習テーマに沿った地図が大きく配置され、まわりの資料や写真と関連付けることができ、比較・関連させて考察できる資料が多く掲載されている。

日本の歴史的景観や伝統文化、食文化の特集がある。郷土を愛する態度を育めるよう、各地で守り伝えられてきた祭り、伝統行事、伝統工芸品、歴史的建造物、自然などをイラストや絵記号で掲載されている。

防災意識を高められるように、阪神・淡路大震災をはじめ、日本列島で起こった自然災害の事例を学ぶページを多く設けている。また、自然災害に備え、子ども自らが身を護るために何ができるかを考える、「防災マップ」づくりを詳しく紹介している。神戸市立本庄小学校を例にあげながら、防災・減災に向けた具体的な取り組みを紹介している。さらに、京阪神のページがより細かく掲載されており、子どもたちが川西市や猪名川町を見つけ、興味・関心を持って学習に取り組みやすい。

【観点2】

地図を使って、社会的な見方・考え方を働かせられるように、地図を見る視点を示唆したり、活用を促したりするキャラクターが適宜配置されている。学習を支援する「二次元コード」では、アニメーションによる解説やクイズ、動画やVR画像など、デジタル端末を活用した主体的な学びにつながるコンテンツが豊富に収録されている。

「地図マスターへの道」のコーナーが全100問設けられており、地図に関する興味・関心を引きつけ、地図活用技能や知識が身につけられるように工夫されている。巻末には、児童自らが取り組みを記録できる「地図マスターへの道」のまとめページが設けられている。

【観点3】

地図中の都市名・自然地域名称は、ユニバーサルデザイン(UD)フォントを採用している。また地図上の文字に白色のフチがついており、地図上でも文字を視認しやすい。

色のコントラストがはっきりしており、土地の高さの違いが分かりやすい。

地図のタイトル等がどのページでも左上に大きくレイアウトされているため、統一感があり見やすい。

表紙に耐性の強い用紙が使われていたり、強度を高めるための製本がされていたりするので、4年間の使用にも耐えられる。

以上から、令和6年度使用教科用図書として選定する。

選定理由書

種目	小学校		算数
発行者番号	11	発行者略称	学図

調査研究観点

観点1 教科共通の観点

＜観点項目＞

(1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。
- ② 探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。
- ③ 教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。
- ④ 知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。
- ⑤ 系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。

(2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について

- ⑥ 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。

観点2 教科固有の観点

＜観点項目＞

(1) 概要

- ① 教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。
- ② 内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。
- ③ ICT機器を活用して学習を充実させることができる。

(2) 教科内容

- ④ 自然な思考の流れの中で、主体的な学びが生まれるよう、わかりやすく工夫がされている。
- ⑤ 数学的活動が、効果的かつ系統的に取り入れられ、実生活につながる工夫がなされている。
- ⑥ 個別と協働学習において、多様な考えを引き出せるように工夫がされている。

観点3 形式について

＜観点項目＞

(1) 内観

- ① 本文文字の字体や大きさ
- ② 資料の構成
- ③ 配色
- ④ レイアウト

(2) 外観

- ⑤ 判型、頁数及び別冊の有無

選定理由

【観点1】

キャラクターの対話が学びの実現に向けたものになっている。自ら考えを深めようとする意欲が高まる。単元の初めに大きな「？」マークが書かれていることで、児童が興味を持ち、めあてを見つけ、主体的・対話的に学習を進めることができる。

キャラクターが解き方のヒントを与え、探究心を高める工夫がなされている。また、単元終末に「まなびをいかそう」や「つなげたいな」等のページが設けられており、学習した内容を生かした問題解決ができるような工夫がされている。

身近な疑問から、イラスト形式により学びが進められている。

「〇年生で見つけた見方・考え方」は、既習事項をふりかえる要素だけでなく、現学年の学習との系統性を確認することに効果的である。単元配列や素材の選択で合理的な扱いができる場面を取り入れるなど、他教科との関連にも配慮されている。

【観点2】

単元の終わりに、その単元の内容を見方・考え方の視点でまとめ、ふりかえりができるようになっている。実際の授業に沿った問題解決的な展開にし、数学的活動を通して学習を進められるようにしている。

全ての学年に「プログラミングのプ」のページが用意されており、プログラミング的思考に触れることで、より筋道を立てて、考える事の大切さに気づくことができるようになっている。デジタルコンテンツも豊富に設けられ、必要なコンテンツを選択して使うことができる。

イラストから興味をもって取り組む工夫が導入にあり、自然な思考の流れが仕込まれている。

「算数をつかって」を通じて、実生活の課題を算数的視点で解決していく内容になっている。「算数をつかって」では環境や安全、日本の文化につなげ算数だけでなく社会につなげている。ブロックなどの具体物からテープ図へと慣れていくように工夫している。

友だちの考えを尊重する場面設定により、考えの土台作りや別の方法を考え出す手がかりをつかむことができるよう工夫されている。

【観点3】

図と文字のバランスが良い。

やさしい色と強調の文字で区別しやすい。

ページの端に今何の課題に取り組んでいるのか一目で分かるようにするとともに、重要事項には枠組みし、学習のまとめがすぐ分かるようになっている。また、導入では答えの見えないレイアウトになるようにし、教科書を授業で使えるように配慮されている。問題と資料、図の配置のバランスが良く、教科書で思考の流れが整理できる内容となっている。

AB判を採用し、紙面が整理され、教科書上で作業する際も使いやすい工夫がされている。別冊があり、サイズ少し大きい。ページが横に長いので一つの文章の区切れが分かりやすい。

以上から、令和6年度使用教科用図書として選定する。

選定理由書

種目	小学校		理科
発行者番号	2	発行者略称	東書
<p>調査研究観点</p> <p>観点1 教科共通の観点 <<観点項目>> (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。 ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 ⑤系統のかつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。</p> <p>観点2 教科固有の観点 <<観点項目>> (1) 概要 ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。 (2) 教科内容 ④観察・実験の予想、計画が明確で、理科室にあるものや手に入るもので観察・実験ができ、方法もわかりやすく、結果が導きやすい。 ⑤理科の見方・考え方が、児童の学びの過程において、振り返り、考察できる内容になっている。 ⑥デジタルコンテンツが豊富で、児童の学びのサポートとなるように工夫されている。</p> <p>観点3 形式について <<観点項目>> (1) 内観 ①本文文字の字体系や大きさ ②資料の構成 ③配色 ④レイアウト (2) 外観 ⑤判型、頁数及び別冊の有無</p>			
<p>選定理由</p> <p>【観点1】 「問題をつかもう」や「予想しよう」で出てくる話し合い例が具体的で、主体的・対話的な活動に繋がりがやすい。また、「問題」までの流れが、「比較」「関連付け」させて考える流れになっており、児童が主体的に課題設定に向かうことができる。フローチャートと番号で手順を示すとともに、写真や図を用いて説明している。「理科の世界探検部」や「インタビュー動画」では、働く人の様子や考えや思いが掲載されており、キャリア形成にも繋がる内容となっている。単元末に「たしかめよう」を設け、知識・技能の定着を図る工夫がある。また、器具の使い方を巻末に掲載している。実験や観察の方法から考え方、判断材料、発展的な資料等効果的に掲載し、偏りのない内容となっている。高学年で特に、SDGsや防災との繋がりを意識できる内容が充実している。また、発表の仕方については国語、他教科の内容を活用した学習を掲載している。</p> <p>【観点2】 キャラクターを用いて「理科の見方・考え方」を働かせるための学習や活動のヒントを提示している。また、各学年に応じた「見方」を働かせる内容になっている。特に、5年生では、実験における条件制御が適切である。内容により、分量やページ数に偏りがなく、充実した内容となっている。5年生「流れる水のはたらき」において、デジタルコンテンツで全国に流れる川をみて、上流・中流・下流の違いを比べることができる。6年生の唾液の実験では、綿棒が取り入れられる等、身近なものを使いつつ、児童が実験しやすい内容となっている。学ぶ前と学んだ後の自分を比較できるように工夫されている。「実験」「観察」「調査」のページにおいては、特に、二次元コードが豊富で、デジタルワークシート等も活用できるしくみになっている。</p> <p>【観点3】 UDフォントを使用している。写真が豊富であり、特に、3年生の生き物に関する単元では、多くの種類の生き物の写真が掲載されている。「問題」「予想」「計画」と「実験」「観察」「調査」と「まとめ」で色分けがされていて分かりやすい。単元の最後には、「ふりかえろう」→「たしかめよう」→「理科の世界探検部」という流れになっていて、学びを深められるレイアウトになっている。</p> <p>以上から、令和6年度使用教科用図書として選定する。</p>			

選定理由書

種目	小学校		生活
発行者番号	2	発行者略称	東書
<p>調査研究観点</p> <p>観点1 教科共通の観点 <<観点項目>> (1)学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。 ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 ⑤系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2)県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。</p> <p>観点2 教科固有の観点 <<観点項目>> (1)概要 ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。 (2)教科内容 ④自分と身近な人々、社会及び自然と関わることを通じて、地域への愛着や自然の大切さ、安全で適切な行動を考えることができる。 ⑤自分と身近な人々や社会及び自然と触れあい、工夫したり楽しんだりすることを通してその良さに気づき、遊びや生活をより良くしようすることができる。 ⑥自分の生活や成長と身近な人々の支えに気づき、意欲と自信をもって生活することができる。</p> <p>観点3 形式について <<観点項目>> (1)内観 ①本文文字の字体や大きさ ②資料の構成 ③配色 ④レイアウト (2)外観 ⑤判型、頁数及び別冊の有無</p>			
<p>選定理由</p> <p>【観点1】 単元や年間を通して、主体的・対話的で深い学びを実現している姿が、上下巻を通じて登場する挿絵の登場人物や「学びをふかめる」というコーナー、紙面下段の「学びのプロセス」で示されている。また、教師の言葉かけや環境構成、板書などの例が挿絵や吹き出しで示されており、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を図ることができるように工夫されている。 イラストを用いて児童が生活科の見方・考え方を生かしている姿が具体的に例示されている。 「もうすぐ2年生」や「みんなであつちのせつ」の単元では、周りの人の思いを考えながら、子どもたち自身の生活や心を振り返ることができる内容となっている。 学校・家庭・地域の生活に関する内容や、身近な人々・社会・自然に関わる活動、自分自身の生活や成長に関する内容が満遍なく配置されており、偏りなく学習を進めることができる。 四季の変化を意識しながら生活や学習ができるよう、季節の流れを軸に時系列で単元が配列・構成されている。他教科で身につけた資質・能力を生活科の学習の中で生かす場面が例示されている。 防災の観点のページがある。公民館に猪名川町の写真が使われている。</p> <p>【観点2】 社会や自然に関する内容が幅広く配置されており、様々な資質能力を育むことができる。 学校・家庭・地域の生活や、身近な人々・社会・自然に関わる活動、自分自身の生活や成長の内容が満遍なく配置されている。 二次元コードが多く掲載されており、実際の写真や教科書のイラストを自分のタブレットPCで見ることができる。 地域で働いている人々や生活している人々との関わりを、それらが自分とどのように関わっているかを考える学習活動や、「まちのよさ」の発信など地域への愛着を深める学習活動が繰り返し設けられている。 町の単元では、地域の人にインタビューをしたり、感謝を伝えたりする方法を考え、地域とつながる中で、その大切さに気づくことができる。おもちゃづくりでは、作り方が挿絵とともに分かりやすく掲載されている。作り方や遊び方の工夫を話し合っている様子が挿絵と吹き出しで描かれており、コミュニケーションを通して、よりよい活動をしていくイメージがつかみやすい。 自分の生活や成長を振り返る場面が随所であり、次の学習への意欲につながる。また、振り返る成長のスタートが幼稚園や入学してからとなっており、家庭環境への配慮がある。</p> <p>【観点3】 UDフォントが採用されている。また、上巻と下巻で本文の文字の大きさを変えるなど、低学年児童の発達に合わせた工夫が見られる。文節で改行されたり、分かち書きされていたり低学年児童の読みやすさに配慮が感じられる。 巻末の「かつどうべんりてちょう」が分かりやすくまとめてあり扱いやすい。単元毎にある資料にも工夫がある。「おもちゃ図かん」は、広いページに挿絵と短い説明があって分かりやすい。 すべての児童の色覚特性に適切するようにデザインされている。ページや内容ごとに色のまとまりを感じる。 ページの左上に単元の内容、右端に注意や約束が配置されており統一感がある。「植物のたね・芽・つぼみ・花」の資料は、ページの左端に成長の過程が分かるように工夫して配置されていてとても分かりやすい。 A4サイズで写真や絵がたくさん掲載されている。「デジタル生きものずかん」では、動画や写真でたくさんの生き物を調べることができる。</p> <p>以上から、令和6年度使用教科用図書として選定する。</p>			

選定理由書

種目	小学校	音楽	
発行者番号	27	発行者略称	教芸
<p>調査研究観点</p> <p>観点1 教科共通の観点 <<観点項目>> (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。 ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 ⑤系統のかつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。</p> <p>観点2 教科固有の観点 <<観点項目>> (1) 概要 ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。 (2) 教科内容 ④音楽の要素が明確で学びやすくなっている。 ⑤既習事項を生かすことができる題材の配列となっている。 ⑥単元構成のつながり、教材の数や質が題材のねらいに即している。</p> <p>観点3 形式について <<観点項目>> (1) 内観 ①本文文字の字体や大きさ ②資料の構成 ③配色 ④レイアウト (2) 外観 ⑤判型、頁数及び別冊の有無</p>			
<p>選定理由</p> <p>【観点1】 題材目標が具体的に示されている。各教材の学習の流れや活動例、資料なども豊富に示されており、児童自ら進んで学習活動に取り組めるよう配慮されている。 キャラクターの吹き出しの情報を手立てとして学習することができる。 巻頭の口絵や楽曲ページの「演奏家からのお話」は、音楽を様々な視点から捉える内容となっている。 各教材に「見つける」「考える」「歌う、演奏する、つくる」のマークが示されている。 外国語活動・国際理解教育との連携を図る「英語の歌」は、体の部分や色など、児童が無理なく取り組める平易な英語歌詞の楽曲が選曲されている。 我が国や郷土の伝統音楽の内容が豊富に盛り込まれている。また、震災にゆかりのある曲や防災・復興に関わる内容が掲載されている。</p> <p>【観点2】 児童自らが進んで学習活動に取り組むことができるように、学習の目標や具体的な活動例、ヒント、資料などが豊富に用意されており、音楽的な見方・考え方を働かせながら、学習が進められるように配慮されている。 授業の手立てや単元構成がはっきりしているため、単元の全体像をつかみやすい。 二次元コードがすべてのページ右上に固定されており、児童が自主的に学習を深められるよう工夫されている。 各教材に、思考・判断のよりどころとなる「音楽を形作る要素」が示されている。 前学年で学習した楽譜の一部が掲載されており、既習事項は色分けして区別するなど工夫がある。 題材のねらいに即して学習が展開されるよう、鑑賞・歌唱・器楽教材がバランスよく配列されている。</p> <p>【観点3】 音楽を表現したり想像したりするためのヒントとなる写真や資料が豊富に掲載されている。また、音楽専科だけでなく、すべての教師にとって授業がしやすい詳しい構成となっている。 折り込みページがなく、判型、頁数ともに子ども達にとって使いやすい。</p> <p>以上から、令和6年度使用教科用図書として選定する。</p>			

選定理由書

種目	小学校	図画工作	
発行者番号	116	発行者略称	日文
<p>調査研究観点</p> <p>観点1 教科共通の観点 <<観点項目>> (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。 ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 ⑤系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。</p> <p>観点2 教科固有の観点 <<観点項目>> (1) 概要 ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。 (2) 教科内容 ④造形遊び活動によって、子どもの資質・能力を育てる内容になっている。 ⑤絵・立体・工作の活動によって、子どもの資質・能力を育てる内容になっている。 ⑥鑑賞活動によって、子どもの資質・能力を育てる内容になっている。</p> <p>観点3 形式について <<観点項目>> (1) 内観 ①本文文字の字体や大きさ ②資料の構成 ③配色 ④レイアウト (2) 外観 ⑤判型、頁数及び別冊の有無</p>			
<p>選定理由</p> <p>【観点1】 子どもの意欲を引き出す題材設定や構成になっている。 協働して制作する題材が設定されている。また、授業風景の写真が多く、友だちとのかわり合いが生まれるように工夫されている。日常とリンクしやすい作品が多く提示されている。 多様性を尊重しながら学べる構成になっている。 全ての題材に教科の目標に基づく「学習のめあて」を設け、資質能力の三つの柱の育成が実現できるように工夫されている。 幼児期との接続ページや低学年と中学年の終わりにふりかえるページ、六年間学んだことをふりかえるページを設けている。題材ページや特設ページに「つながる学び」を示し、関連する他教科等の学習内容と結び付けながら教科横断的な学習ができるよう工夫されている。 地域における伝統活動、SDGsの取り組みや作品が数多く掲載されており、県教育基本計画を踏まえた内容になっている。</p> <p>【観点2】 題材ページの各所に、形や色などの造形的な見方・考え方を働かせることを促す投げかけが示されている。また、各巻に、身の回りにある形や色などを「造形的な見方・考え方」で捉え考えることを促すページが設けられている。 掲載されている題材について、学習指導要領における「内容」に基づいて、造形遊び・絵・立体・工作・鑑賞の5つの分野で構成され、さらに活動のねらい、発想のきっかけ、使用する材料・用具などを考慮し、発達の段階に応じた系統的な配列になっている。 各ページに二次元コードがあり、デジタルコンテンツが充実している。道具の使い方に関する解説動画が複数あり、丁寧である。デジタル教科書では、マーカー・付箋などの機能があり、児童がより積極的に参加したくなるようなコンテンツがある。また、読み上げ機能やひらがな機能もあるので支援が必要な児童にも最適である。 自然物、人工物、季節に応じて多様な素材を紹介し、造形遊びに意欲的に取り組むことができるようになっている。 立体は、粘土・針金・木材など様々な材料を使った単元がある。低学年、中学年、高学年と発達の段階とともに学びを深められるように内容と育てたい力がバランスよく構成されている。また、子どもたちが発想し、表現しやすい題材設定となっている。低学年の導入に使いやすいようにすっきりした画面構成になっている。 各題材ページに、「表現のヒント」と「鑑賞のヒント」が示されていたり、鑑賞の特設ページを、関連の深い題材の前後に掲載したりするなどして、表現と鑑賞を往還しながら学習できるように配慮されている。またゲーム感覚で気軽に対話的な鑑賞活動が行える「アートカード」が用意されている。</p> <p>【観点3】 見やすく読みやすいUDフォントが使用されている。学年に応じた文字の大きさが調整されている。 児童の作品、美術作品がたくさん掲載されている。(タブレット内も含めて) 実際の授業で撮影された写真が多く使用されているので臨場感があり、子どもの好奇心が高まりやすい。作品写真には、サイズ・材料が記載されている。二次元コードが掲示されている。 カラーユニバーサルデザインに配慮して編集されている。題材名とリード文の部分などがカラフルに構成されていて、楽しい気持ちになるような配色となっている。 大小の写真が上手くレイアウトされ、メリハリのある楽しい紙面になっている。 A4判。65ページ程度。(1・2上67ページ、5・6下68ページ)。巻末に、その教科書で出てきた道具・技法・アートカードの活用など幅広い分野の参考資料が掲載されている。5・6年下の最後のページでは制作活動の写真とともに児童に向けてのメッセージが書かれている。</p> <p>以上から、令和6年度使用教科用図書として選定する。</p>			

選定理由書

種目	小学校	家庭	
発行者番号	2	発行者略称	東書

調査研究観点

観点1 教科共通の観点

《観点項目》

(1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。
- ② 探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。
- ③ 教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。
- ④ 知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。
- ⑤ 系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。
- (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について
- ⑥ 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。

観点2 教科固有の観点

《観点項目》

(1) 概要

- ① 教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。
- ② 内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。
- ③ ICT機器を活用して学習を充実させることができる。
- (2) 教科内容
- ④ 日本の伝統的な生活文化について、衣食住の観点から取り上げられている。
- ⑤ 今日的な課題について、自分で判断して行動できる内容になっている。
- ⑥ 消費生活において、自分で判断して行動できる内容になっている。

観点3 形式について

《観点項目》

(1) 内観

- ① 本文文字の字体や大きさ
- ② 資料の構成
- ③ 配色
- ④ レイアウト
- (2) 外観
- ⑤ 判型、頁数及び別冊の有無

選定理由

【観点1】

見通しを持って学ぶための「3ステップ」が示されており、「話し合おう」などの「活動」によって児童が進んで問題解決のために考え、話し合うことができる展開となっている。

「活動 深めよう」、「生活を変えるチャンス!」では、学習内容を自己の生活に結び付け、課題の発見と解決に取り組み、「成長の記録」の収載により「自己の成長」を実感させることができる。

「プロに聞く!」で学習と関わりのある様々な人の思いを知り、社会で役立つことについて考えを深めることができる。

「活動」を順に行うことで、3観点を偏りなく実現できるようになっている。

学習指導要領と大題材名との関連が資料で明らかにされており、各単元が連続性を持ったつながりとして学習できる。また、「成長の記録」で5・6年生の系統性、中学校での学習や他教科との関連マークで中学校との接続を意識して学ぶことができる。

「日々の備え」では、生活の中における災害対策を心がけることができる。また、「日本の伝統」で食文化や地域の郷土料理など、ふるさとを大切にしようとする態度を培うことができる。

【観点2】

家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」として提示し、各大題材の導入でそれが示せるように構成されている。

194のデジタルコンテンツが用意されている。各ページに二次元コードを設けることによりPCやタブレットが容易に活用できるようになっている。

日本の伝統マークと共に、和食の基本となる出汁の役割や季節に合わせた着方・住まい方など、日本の生活文化の良さに気付けるように工夫されている。

特集ページ「SDGsでつくる私たちの未来」があり、持続可能な社会の構築が重視されている。また、環境教育、我が国の伝統についての内容が充実している。

消費者市民社会の担い手を育てる観点から、売買契約や買い物の仕組みなどを子どもの目線に立ってわかりやすく説明している。

【観点3】

UD教科書体が採用され、字形が判別しやすく読み間違いにくい。また、重要語句を太字で表記してあるため分かりやすい。

ガイダンスを通して、学習内容と自分とのかかわりを意識しながら学習を進めることができるように工夫されている。また、巻末の資料・写真などで今まで学習した内容をまとめており、学習の確かめがしやすいように構成されている。

紙の地の色が真っ白ではなく、優しい白色が使用されているため、目に優しく読みやすい。

実習の流れやポイントが見開きで構成されている。また、大題材の導入に、タイトル、導入発問、学習の流れが示され、学習の見通しが立てやすく、小見出しや絵模様(アイコン)などを使い、見やすくわかりやすく配置されている。

A4判と大きくなったため、図や写真などがその分大きく見やすい。また、厚みがなく、収納や持ち運び時に扱いやすい。

以上から、令和6年度使用教科用図書として選定する。

選定理由書

種目	小学校	保健	
発行者番号	2	発行者略称	東書
<p>調査研究観点</p> <p>観点1 教科共通の観点 <<観点項目>> (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。 ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 ⑤系統かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。</p> <p>観点2 教科固有の観点 <<観点項目>> (1) 概要 ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。 (2) 教科内容 ④生涯にわたって、健康や育ちに関して学習したことが、生かされるような内容となっている。 ⑤自己の健康の保持増進や回復などに関する内容が明確となっている。 ⑥学習の内容が運動領域と結びつけることができる。</p> <p>観点3 形式について <<観点項目>> (1) 内観 ①本文文字の字体や大きさ ②資料の構成 ③配色 ④レイアウト (2) 外観 ⑤判型、頁数及び別冊の有無</p>			
<p>選定理由</p> <p>【観点1】 学習の課題が大きく示されており、児童が課題に向かって学習を進めたり、意見を交流したりしやすいと思われる。 学習内容や自分の考えを書きながら学習できるよう、教科書に書き込むワークシート欄が充実しており、探究的に学習を進めることができる。 他学年、他教科とのつながりがその都度明記されており、分かりやすい。</p> <p>【観点2】 全ての領域において、学習の進め方が示されている。児童は課題を見つけ、調べ、深めるといった学習活動をステップごとにスムーズに行うことができる。 学習指導要領の内容をもれなく扱うとともに、各学年の目標を達成できるよう、適切な事例や事象が取り上げられており、基本的に1項目4ページ構成でバランスよく学習内容がまとめられている。 学習内容が自分ごとになるよう多彩なデジタルコンテンツが用意されており、「個別最適な学び」が意識されている。また、アニメーションが紙面の情報を補って、思考力・判断力・表現力を育成しやすい構成になっている。 資料は実生活に基づいたものが多く使われており、学んだ事が生かされる内容となっている。</p> <p>【観点3】 読みやすい「UDフォント」が使用されている。 各項目に資料が掲載され、その多くに今日的な課題が取り上げられている。 カラーユニバーサルデザインに配慮されたパステル調の優しい色合いで制作されている。 1単位時間あたりステップ1〜4で構成されている。見開きの右ページにステップ1を配置することで学習内容を目にする前に児童自ら学習の課題を見つけやすくする工夫がされている。</p> <p>以上から、令和6年度使用教科用図書として選定する。</p>			

選定理由書

種目	小学校		英語
発行者番号	2	発行者略称	東書

調査研究観点

観点1 教科共通の観点

《観点項目》

(1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について

- ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。
 - ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。
 - ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。
 - ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。
 - ⑤系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。
- (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について
- ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。

観点2 教科固有の観点

《観点項目》

(1) 概要

- ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。
 - ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。
 - ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。
- (2) 教科内容
- ④デジタル教科書として扱いやすく、内容が充実している。
 - ⑤付属資料が充実している。
 - ⑥文字と音声の関係を系統的に学習できる。

観点3 形式について

《観点項目》

(1) 内観

- ①本文文字の字体や大きさ
 - ②資料の構成
 - ③配色
 - ④レイアウト
- (2) 外観
- ⑤判型、頁数及び別冊の有無

選定理由

【観点1】

1つのユニットの中で、段階を踏んで主体的、対話的に学べる構造になっている。
各ユニットの最後に文化探検という項目があり、世界の暮らしや文化を紹介する内容が盛り込まれていて、児童が海外の暮らしについて関心を持つことができるよう工夫されている。
アイヌ文化、海外諸国の文化など多文化への理解を進め、心を育てるような題材を広く扱っている。登場人物にも多様性がある。
5年生は、自分のことを伝え合い(Unit1～3)、身近な地域のことを伝え合い(Unit4～6)、日本について、あこがれの人について伝え合う(Unit7～8)と段階的になっている。6年生は、世界の国や生活についても考えたり伝え合ったりし(Unit1～3)、日本と世界とのつながりを考えながら世界と地球を見つめて発表する活動を行い(Unit4～6)、思い出と夢をテーマに伝え合う活動を行う(Unit7～8)ように系統立てられている。5年時に会話でよく使う疑問詞に触れ、文法や表現においても児童に負荷のかからない配列となっている。

【観点2】

Picture Dictionary見開きに、会話を広げる言葉を場面ごとに紹介し、必要な時に確認できるようになっている。
導入では、ストーリーを伴った音声や映像を視聴し学習内容に慣れ親しみ、単元の目標となる活動の映像を見せて見通し(Our Goal)を持ち、登場人物の問いかけから自分の言いたいこと(Your Plan)を考える。次に「聞け」活動の後に、学習した語彙や表現を使ったペアやグループでのやり取りの活動を行う。4技能5領域に関する豊富な活動が用意されている。
各学期のまとめとして、Check Your Stepのページが設定されており、パワーポイント等を活用して既習事項を使いながら自分の伝えたい内容に合うスライドを作り、伝え合う活動が可能である。
ほぼ全箇所をタップでき、そこから学習が展開し、直感的に扱いやすい。書き込み等を保存することができる。
巻末カードおよびUnitごとに使える発表カードが切り取り可能な形でついている。2年間使用するPicture Dictionaryは、3・4年生時の学習を振り返るページや五十音表、大文字小文字対照表などがある。デジタルで調べることができるようになっているなど資料を充実させている。
5年生は文字の形と名前的一致、6年生は文字の音から文を読むことへつなげる内容の教材をUnitごとに取り上げている。デジタルコンテンツでも、発音と文字が視覚と音声で理解できるような映像資料が取り上げられている。

【観点3】

UDフォント手書き書体のアルファベットを採用している。
活動用のカードが巻末に豊富に用意されている。
色合いが柔らかく、目に優しい。
A4、96頁。教科書とPicture Dictionary、デジタル教科書とのリンクがよくできており、使いやすい。オンラインで、さらに多くの言葉が用意されており、発展的な使用がしやすい。自分で言葉を増やすことができるようになっている。

以上から、令和6年度使用教科用図書として選定する。

選定理由書

種目	小学校		道徳
発行者番号	38	発行者略称	光村

調査研究観点

観点1 教科共通の観点

＜観点項目＞

(1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について

- ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。
- ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。
- ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。
- ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。
- ⑤系統のかつ教科横断的に学習することができる内容となっている。

(2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について

- ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。

観点2 教科固有の観点

＜観点項目＞

(1) 概要

- ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。
- ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。
- ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。

(2) 教科内容

- ④いじめ問題への対応の充実について考える教材がある。
- ⑤現代的な課題を取り扱った教材がある。
- ⑥人権的な配慮がなされた表現や構成となっている。

観点3 形式について

＜観点項目＞

(1) 内観

- ①本文文字の字体や大きさ
- ②資料の構成
- ③配色
- ④レイアウト

(2) 外観

- ⑤判型、頁数及び別冊の有無

選定理由

【観点1】

「教材」「自分」「友達」との三つの対話を意識できるよう「どうとくの学び方」が示されている。主体的に考えることに関しては児童の身近な光景を意図して取り入れられており、自分事として考えやすいように構成されている。これまで親しまれてきた定番教材を多数取り上げるなかで、正解を求める授業にならないよう、文章の見直しがなされている。学習のてびきの下に他教科やSDGsとの関連がわかるマークが付けられている。

【観点2】

「考えよう・話し合おう」のてびきにより自分事として考えられるよう工夫がみられる。冒頭にはキャラクターによる呼びかけがあり、道徳目標実現の手助けとなっている。

学習指導要領における内容項目は全て網羅されており、特定の分野に偏りがなく全体として調和がとれている。

参考資料、動画などデジタルコンテンツが多数用意され、児童の興味を引いたり、学びを助けたりできる。

「いじめを許さない心」を育むために設けられたユニットや様々な観点からいじめに向き合う教材が扱われている。

SDGsについては全学年を通して17の目標に触れる機会が設けられており、自分事として考えられるよう工夫されている。

教科書の中の表現が無自覚な差別につながらないよう配慮され、人権と多様性が意識された構成となっている。

【観点3】

ユニバーサルデザインに配慮したオリジナルな書体を使用し、小さい文字にはUDフォントを使用し、文字が読みやすい。

見かけやすい配色で、色覚特性にも配慮された色使いとなっている。色文字を使用しても、振り仮名は黒とし、見やすさを優先している。

絵・写真が適所に配されている。漫画形式や見開きの1枚絵による工夫により、興味関心を喚起するレイアウトがなされている。文章レイアウトは、低学年は分かち書きされており、単語や文節途中で改行しないようになっている。中学年以降でも、てびきは文節の区切りで改行している。

B5判(変型判)で机上に収まりがよく扱いやすい。軽く、環境に配慮した紙を使用している。

以上から、令和6年度使用教科用図書として選定する。